（様式1-2）

**日本医療研究開発機構　次世代がん医療加速化研究事業**

**令和７年度２次公募　戦略的研究枠（革新的基礎研究）　研究開発提案書**

注 提出する際には、青文字の記載例と緑色吹き出しの説明文を削除してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究開発課題名（英語表記） | 日本語表記 | ○○に関する研究開発 |
| 英語表記 | Study of ○○ |
| 公募名（事業名） | 次世代がん医療加速化研究事業　令和７年度２次公募戦略的研究枠（革新的基礎研究） |
| 研究開発期間（全研究期間） | 令和XX年 X月 X日 ～ 令和 XX年 X月XX日（X年間） |
| 研究費総額 | 全研究期間での研究費総額（直接経費）　X0,000千円 |
| ヒト全ゲノムシークエンス解析※1 | □実施する 　　□実施しない※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出。 |
| 希少がんへの該当 | [ ]  希少がんを対象とする研究である（主たるがん種名：○○○）※該当する場合は☑をつけてください。※本公募における希少がんの定義については、公募要領を参照してください。 |
| がん研究と融合する分野 | ☐　1.培養工学 ☐　2.物質工学 　☐　3.遺伝子工学☐　4.再生医学 ☐　5.核医学 　☐　6.情報科学（AI） ☐　7.数理科学（含データサイエンス、数理モデル）☐　8.上記以外の分野（ ） |
| 研究開発代表者 | 氏　名 | フリガナ | ○○○○　○○○○ |
| 漢　字 | ○○　　　○○  |
| ローマ字表記 | Yyyy Yyyyyy |
| 性　別 | ☐男　☐女　☐その他　☐回答したくない |
| 生年月（年齢） | 19XX年XX月（XX歳：令和7年4月1日時点） |
| 所属機関（正式名称） | ○○法人○○大学 |
| 所属部署（部局） | ○○学部○○学科 |
| 役　職 | ○○ |
| 住所 | 〒XXX-XXXX　○○県○○市○○町・・・・ |
| 電話番号 | XX-XXXX-XXXX |
| E-mail | YYY@YY.jp |

1. 全ゲノムシークエンス及び全エクソームシークエンスが対象

注 提案研究の立案に寄与した過去の研究開発課題の概要と成果については、「１０.これまでに受けた研究費とその成果等

（１）提案の研究立案に寄与した研究費とその成果」に記載してください。

**要約（和文）**

* A4縦1ページ以内
* 背景（今の状況がどのようで、何が求められているのか）、

目的（背景を受け、本課題を実施する目的）、

方法の概略（がんの生物学の専門家と異分野領域の専門家とがチームを形成して、どのような方法を用いて、どのように研究を実施し問題を解決するか）、

概要を記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

この欄に記載した内容について、e-Rad応募情報登録　基本情報　研究概要の記入欄へ転記してください。

# １．研究の背景・目的

* 下記（１）～（３）について、3ページ以内で記載してください。また、必要があれば、図や表を用いても構いません。
* がん研究の専門家だけでなく複数の専門家がチームを形成して革新的な医薬品の創生に資する基礎的研究を推進するために、どのような学問領域の融合による体制で提案されているか、また、そのような体制で研究を進めることでどのような効果が期待されるかがわかるように記載してください。

## 研究開発の背景

* 本研究に関連する国内・国外の研究開発動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果（事業名記載）を踏まえ着想に至った経緯について記載してください。
* 本研究開発の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請や経済、産業の要請と本研究計画の関係を明確にしてください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

## 研究開発の目的

* 研究開発の目的について、1,000字以内で、具体的かつ明確に、記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

この欄に記載した内容について、e-Rad応募情報登録　基本情報　研究目的の記入欄へ転記してください。

## 研究開発の目標・ねらい・準備状況

* 研究開発の目標（研究開発期間終了時に達成しようとする、研究開発成果の目標）、研究開発のねらい（上記研究開発成果によって得られるアウトカム及びその意義）、研究開発の準備状況（これまでに進めている研究内容や企業の連携状況等）を具体的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

企業との共同研究等の連携状況

* 企業との連携は必須ではありませんが、連携がある場合には「共同研究」、「権利譲渡」、「知財等の優先使用契約」などの連携状況を開示可能な範囲でご記載ください。

企業名：○○○○○○○○○○○○○○

* 企業との守秘契約等の理由から特定の企業名を出せない場合には、「国内大手製薬会社」、「海外ベンチャー企業」等の記載でも構いません。

企業との連携状況：○○○○○○○○○○○○○○

* 次世代がん医療加速化研究事業（以下、「本事業」という。）で行う研究内容との関連性が分かるように記載してください。
* 以下に、企業との連携における双方の役割分担をご記載ください。なお、共同研究のように期間が定められているものについては、それが分かるようにご記載ください。
* 本事業では、医薬品創出に係る成果指標の一つとして企業導出（「研究成果（知的財産権等）の製薬企業等への実施許諾・権利譲渡、企業主導の共同研究の開始等」と定義）を設定しています。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# ２．研究計画・方法

## 研究計画・方法の概要

* 「１．研究の目的・背景」に記載したことを達成するための具体的な研究計画及び方法を2ページ以内で記載してください。
* 研究計画を遂行するための研究体制について、「研究開発代表者」、「研究開発分担者」の具体的な役割を明確に記載してください。なお、戦略的研究枠（革新的基礎研究）では、がんの基礎/臨床 研究分野または異分野技術の研究者のいずれかを研究代表者に、それ以外の研究者を研究開発分担者に設定し、専門知識を融合するチームを編成して研究を進める必要があります。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。（ここまでを2ページ以内）

## 研究開発担当者

* 研究開発代表者および全ての研究開発分担者の機関名、氏名、分担研究開発課題名を記載してください。人数に応じて適宜記載欄を追加してください。「５．実施体制図」の分担研究開発課題名と同一の記載をお願いいたします。複数の異分野技術での研究開発分担者による研究提案の場合、個々の異分野技術での研究開発課題を分かりやすく記載ください。
1. 研究開発代表者 機関名　氏名：

分担研究開発課題名：

1. 研究開発分担者 機関名　氏名：

分担研究開発課題名：

## 研究開発項目別

* 「１．研究の目的・背景（３）研究開発の目標・ねらい・準備状況」を達成するための研究開発のマイルストーン（研究開発期間中の研究開発の到達点とその達成度の判断基準）および研究開発方法を、研究開発項目毎・年度毎に分けて、適宜論文を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に、5ページ以内で記載してください。
* 研究開発項目は、「６．研究開発の主なスケジュール」に記載のものと同一にし、整合をとってください。
* 研究開発項目名に続けて、担当者（研究開発代表者又は研究開発分担者）の機関名、氏名を記載してください。
	+ 担当者が複数いる場合は、全員の機関名、氏名を記載してください。また、研究開発方法にはそれぞれの担当者の役割がわかるように記載してください。
* 各研究開発項目について、AMEDで支援予定の期間を超える計画については、〇〇年度以降としてまとめて簡潔かつ明確に記載してください。

### 研究開発項目（１）：○○○○○○○○○○○○○○

【担当者】

機関名　氏名：

令和７年度

マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和８年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

令和８年度

マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和９年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

令和９年度

マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和10年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

### 研究開発項目（２）：○○○○○○○○○○○○○○

【担当者】

機関名　氏名：

令和７年度

マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和８年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

令和８年度

マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和９年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

令和９年度

マイルストーン：○○○○○○○○○○○○○○○○○○を終了する（令和10年３月）

研究開発方法：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

# ３．研究の将来展望

* 本研究開発構想が達成された場合に期待される、社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出等について、想定し得る範囲について600字程度で記述してください。
* 本研究課題が終了した後に、AMEDが支援しているどの事業（※）での展開を考えているか、将来的にどのような治療法開発を目指しているのかについて簡潔に記載してください。

※ [事業紹介 | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構](https://www.amed.go.jp/program/index.html)　参照

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# ４．研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属機関※1 | 現在の専門 | 令和7年度研究経費※２（千円） | エフォート（％） |
| 生年月（年齢:令和7年4月1日時点） | 所属部署（部局）※1 | 学位（最終学歴）学位取得年 |
|  | 役職※1 | 役割分担 |
| 研究開発代表者 | ○○　○○ | ○○○○大学 | △△△ | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | △△△学部△△△学科 | △△博士（○○大学）H14年 |
|  | △△△ | 研究の統括 |
|  |  | （主たる研究場所）※1△□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 | □□　○○ | △□大学 | □○□ | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△学部△△△学科 | ○○博士（□△大学）H15年 |
|  | □□□ | データの解析 |
|  |  | （主たる研究場所）※1△□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計　2名 | 研究開発経費合計 | X,XXX |  |

※1　所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※2　研究経費については、直接経費を記載してください。

# ５．実施体制図

* 研究開発代表者及び研究開発分担者について、氏名、所属機関（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、分担研究開発課題名、相互連携関係を示す研究の実施体制図を記載してください。
* 研究開発代表者、研究開発分担者以外の協力者（協力企業、主な外部委託先等）については、研究の実施体制を示すために必要な範囲で、協力者名（機関名）、役割、協力体制を記載してください。



# ６．研究開発の主なスケジュール

**＜担当者＞**

* 「２．研究計画・方法（１）研究開発担当者」に合わせて、研究開発代表者及び研究開発分担者の機関名及び氏名を記載してください。

①研究開発代表者：氏　名（○○○大学）

②研究開発分担者：氏　名（○○○機構）

③研究開発分担者：氏　名（(株)○○○）

・・・・

* 「２．研究計画・方法（２）研究開発項目別」に記載した研究開発項目を挙げ、実施期間、マイルストーン及び担当者番号を記載してください。また、各研究開発項目の目標達成に向けて取り組むことを具体的に挙げ、実施期間を記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目＜担当者＞ | 第1年度(R7年度) | 第2年度(R8年度) | 第3年度(R9年度) |
| 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| （1） 〇〇関連遺伝子発現解析・○○遺伝子の同定・○○遺伝子発現解析＜①②④＞ |  |  |  |  |  |  |  | ▲マイルストーン：○○○○○○○○ |  |  |  |  |
| （2）  |  |  |  | 「２．研究計画・方法（２）研究開発項目別」に記載した研究開発項目名と合わせる |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （3） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （4） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

# ７．各年度別経費内訳

【全体】

**各年度別経費内訳** （単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R７年度 | R８年度 | R９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.旅　費 | 旅費 |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%目安） |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

※間接経費は直接経費の30%を超えることは出来ません。

【代表機関】

研究開発代表者の所属機関（研究開発代表者と同じ研究機関に所属する研究開発分担者の研究開発費も本表に含む）

**各年度別経費内訳**

機関名：○○大学　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R７年度 | R８年度 | R９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.旅　費 | 旅費 |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%目安） |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

※間接経費は直接経費の30%を超えることは出来ません。

【分担機関】

研究開発分担者の所属機関が複数ある場合には、以下をコピーして機関ごとに作成してください。

**各年度別経費内訳**

機関名：○○大学　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R７年度 | R８年度 | R９年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.旅　費 | 旅費 |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%目安） |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

* 間接経費は直接経費の30%を超えることは出来ません。
* 研究力向上のための制度（PI人件費）の利用を希望する場合は、以下の条件を満たしていることを確認の上、以下の項目を記載ください。（希望しない場合は、記載不要です。）

① 直接経費にPI の人件費（の一部）を計上することについて、PI 本人が希望していること。

② PI が所属する研究機関において、確保した財源を研究力向上のために適切に執行する体制が整備されていること。

③ PI が所属する研究機関において、研究の業績評価が処遇へ反映されるなどの人事給与マネジメントを実施していること。

研究力向上のための制度（PI人件費）とは？：[https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki\_itaku.html#i00-01](https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki_itaku.html%22%20%5Cl%20%22i00-01)

対象者氏名（この研究でのエフォート率、申請額）：○○○○（○％、約○○千円/年）

期待される効果： ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

■研究力向上のための制度（PI人件費）に関する記載も審査の対象となります。

■当該制度を利用する場合は、提案時の記載が必須です。

# ８．研究業績

* 「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの**（概ね一人につき10編以内）**を選択し、提案課題に直接関連するものとそれ以外に分け、それぞれ直近年度から順に記載してください。
* 特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。
* 研究開発代表者又は研究開発分担者のうち異分野技術の研究者については、論文・著書に限らず、専門分野における主だった成果や業績などのアピールポイントを記載してください。

## 研究開発代表者　○○　○○

＜論文・著書＞

1. 提案課題に直接関連する論文・著書

M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

1. 上記以外の論文・著書

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

○○○○○○ガイドライン（○○学会編　XXXX年）

## 研究開発分担者　○○　○○

＜論文・著書＞

1. 提案課題に直接関連する論文・著書

M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

1. 上記以外の論文・著書

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquel

# ９．研究費の応募・受入等の状況・エフォート

* 本研究開発課題の研究開発代表者及び研究開発分担者の応募時点における、①応募中の研究費（国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。）、②採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、③その他の活動について、次の点に留意し記載してください。
* 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記載してください。
* 「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

## 研究開発代表者：○○　○○　　研究開発分担者がいる場合は、以下をコピーして作成して下さい

## 応募中の研究費（令和７年４月２４日時点）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割（代表・分担の別) | 令和7年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】申請者本人への配分予定額（直接経費）（R7～R9） | ○○と△△の相関に関する実験的研究（○○○○） | 代表 | 6,000[18,000] | 20 | （総額　21,000千円）\*研究開発課題全体（直接経費）の総額例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R7～R9・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額） | 代表 | 3,000[9,000] | 10 | この研究は、▲▲に関する研究であり、本研究とは目的が異なる。本応募研究により相乗的に理解が進むと考えられる。（総額　9,000千円）\* |
| 令和７年度○○財団研究助成金（R7・○○財団） | 上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[1,000] | 5 | この研究は、▲▲の開発を目的としており、本研究とは目的が異なる。 |

## 採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和７年４月２４日時点）

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割（代表・分担の別) | 令和7年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和７年度○○財団研究助成金（R7・○○財団 | ●●と□□の研究（○○○○） | 代表 | 1,000[1,000] | 5 | この研究は、▲▲に関する研究であり、本研究とは目的が異なる。本応募研究により相乗的に理解が進むと考えられる。（総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R5～R9・AMED） | ●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[5,000] | 10 | この研究は、▲▲の開発を目的としており、本研究とは目的が異なる。 |

　\*　（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## その他の活動

エフォート：　50　％

# １０．これまでに受けた研究資金とその成果等

## 提案の研究立案に寄与した研究資金とその成果

本欄には、本研究提案の研究立案に寄与した主たる研究資金について記載ください。

* 研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究資金（所属機関より措置された研究資金、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究資金等。なお、現在受け入れている研究資金も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、次の点に留意し記載してください。
* 次世代がん医療加速化研究事業（P-PROMOTE)/次世代がん医療創生研究事業(P-CREATE)およびその他のAMED事業、並びにそれ以外の研究資金に区別して記載してください。
* それぞれの研究資金ごとに、資金制度名、期間（年度）、課題名、代表者又は分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究の概要、成果及び中間・事後評価結果（当該研究資金の代表者のみ。）も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：R 年度～R 年度

課題名：

代表者又は分担者の別：

研究経費（直接経費）： 千円

研究の概要、成果及び中間・事後評価結果：

（記載例）

【次世代がん医療加速化研究事業（P-PROMOTE)/次世代がん医療創生研究事業(P-CREATE)】

1. AMED　次世代がん医療加速化研究事業、R4～R6、「○○に関する研究」、代表者、10,000千円

この研究では○○について明らかにすることを目的に、△△、□□を行った。その結果、××××であることを見出し、XXXX誌で発表した。また、☆☆☆に関する解析を行う中で得た○○の知見から提案研究に繋がる着想を得た。

1. AMED　次世代がん医療創生研究事業、H30～R1、「○○に関する研究」、分担者、10,000千円

××××の成果を得た。

【その他のAMED事業】

1. AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

1. AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

【それ以外の研究費】

1. 基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

## 上記以外に研究費補助等を受けた過去の実績（過去３年度分）

研究開発代表者が過去に受けたことがある、本研究の立案に生かされているもの以外の研究資金についてご記入ください。

（記載例）

【次世代がん医療加速化研究事業（P-PROMOTE)/次世代がん医療創生研究事業(P-CREATE)】

1. AMED　次世代がん医療加速化研究事業、R4～R6、「○○に関する研究」、代表者、10,000千円

××××の成果を得た。

1. AMED　次世代がん医療創生研究事業、R1～R3、「○○に関する研究」、分担者、10,000千円

××××の成果を得た。

【その他のAMED事業】

1. AMED　○○事業（A）、R1～R3、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

1. AMED　○○事業（B）、H30～R2、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

【それ以外の研究費】

1. 基盤研究（B）、H30～R2、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和３０年法律第１７９号、平成14年12月13日改正）第１８条第１項の規定により補助金等の返還が命じられた過去１０年間の事業について、該当する場合には記入してください。

【研究開発代表者】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 年度 | 研究事業名 | 研究課題名 | 補助額 | 返還額・返還年度 | 返還理由 | 所管省庁等 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|

【研究開発分担者】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 年度 | 研究事業名 | 研究課題名 | 補助額 | 返還額・返還年度 | 返還理由 | 所管省庁等 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|

# １１.　 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

* 以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED事業の研究開発課題において記載を求めるものです。別途、公募要領に特記事項等として条件が付されない限りは、採否に影響ありません。なお、記載内容は今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。
1. **遵守すべき研究に関係する指針等**

研究開発の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する全ての指針等の「□」にチェックを入れてください。

[ ] 　下記の法令・指針等「該当なし」

[ ] 　臨床研究法

[ ] 　医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令

[ ] 　医療機器の臨床試験の実施の基準に関する省令

[ ] 　再生医療等の安全性の確保等に関する法律

[ ] 　遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律

[ ] 　人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針

[ ] 　遺伝子治療臨床研究に関する指針

[ ] 　研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針

[ ] 　その他の指針等（指針等の名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※　提案課題が計画する内容について、上記指針に関する所属機関での審査結果が分かる書類が求められる場合があります。

1. **医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）及びデータシェアリングについて**

本研究開発構想に関連して、患者・市民参画に向けた取組を実施している場合はその概要を、今後実施を検討している場合はその計画を簡潔に記載してください。

※AMED公式ウェブサイトでは、患者・市民参画に関する基本的な考え方等を示しています。

AMED研究への患者・市民参画：<https://www.amed.go.jp/ppi/index.html>

また、本研究で得られたデータについて、データベースへの登録やデータシェアリングを予定している場合には、その概要を記載してください。

1. **キーワード（疾患名以外、10単語以内）**

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。（例：研究手法・技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位（臓器、組織、細胞等）、対象集団（妊産婦、AYA世代など）、実験動物等）

1.△△計測　　2.○○合成阻害剤　　3.　．．．．．．

1. **対象がん種**

研究対象のがん種について、該当するものに☑を入れ、主要ながん種名を、標準病名を参考にして、10個以内で記載してください。標準病名は以下のサイトで確認することができます。

<http://www.byomei.org/Scripts/search/index_search.asp>

[ ] 希少がん　[ ] 難治性がん　[ ] その他

（主要ながん種名：1.△△　　2.○○　　3.□□．．．．．．）

1. **対象疾患**

がん以外の対象となる疾患がある場合記載してください。

# １２．若手研究者の参画について

* 研究開発代表者又は研究開発分担者に若手に該当する研究者がいる場合に記載してください。

研究開発代表者：○○　○○

|  |  |
| --- | --- |
| [ ]  | 満43歳未満の者（昭和57年4月2日以降に生まれた者） |
| [ ]  | 上記以外で、博士号取得後10年未満の者（博士号取得日：○年○月○日） |
| [ ]  | 出産・育児により研究に専念できない期間があった場合（育児休業等の期間：○○ヶ月） |
| [ ]  | 介護により研究に専念できない期間があった場合（介護休業等の期間：○○ヶ月） |

研究開発分担者：○○　○○

|  |  |
| --- | --- |
| [ ]  | 満43歳未満の者（昭和57年4月2日以降に生まれた者） |
| [ ]  | 上記以外で、博士号取得後10年未満の者（博士号取得日：○年○月○日） |
| [ ]  | 出産・育児により研究に専念できない期間があった場合（育児休業等の期間：○○ヶ月） |
| [ ]  | 介護により研究に専念できない期間があった場合（介護休業等の期間：○○ヶ月） |

* 必要な場合は枠を適宜増やしてください。
* なお、採択後には必要に応じて、出産・育児又は介護の事実及び研究に専念できない期間があったことを証明する関係書類を提出していただく場合があります。
* AMEDが規定する『若手研究者』の定義

・令和7年4月１日時点において、①年齢が満43歳未満の者（昭和57年4月2日以降に生まれた者）　　②又は博士号取得後10年未満のいずれか高い方を対象とします。

・③出産・育児又は介護により研究に専念できない期間があった場合は、①あるいは②に当該期間分（最長2年。延長の単位は月単位とし1月未満の日数は切り上げます（例：研究に専念できない期間が17ヶ月14日の場合は18ヶ月の延長となります。））加算することができます。

# １３．研究開発構想図

* 研究内容について、1ページに図としてまとめてください。

# １４．TPP・TRP

* TPP・TRPは、創薬研究等、実用化を目指した研究開発を進める上で重要な指針となるものです。本事業では、がん研究の早期段階から研究者自身が具体的な創薬目標（対象がん種、想定される効能等）を意識することが重要であるとの考えに基づき、本項目の記載をお願いしています。
* TPP・TRPは研究の進行に伴い更新されていく可能性があるものです。本項目には提案時点において提案者が考えるものを具体的に記載してください。
* 本事業では、TPP・TRPを採択後の研究開発マネジメントに活用し、研究推進を図ります。

TPP（Target Product Profile）

どのような医薬品／実用化イメージを目指しているのかについて記載してください。

記載例（TPPとTRPの例の番号は対応しています）：

(例1)Yがんに特異的に発現するXを用いた早期診断キットの臨床検査薬

(例2)大腸がん細胞特異的にデリバリーすることが可能な、抗がん剤とコンジュゲートしたDDS製剤

(例3)生体内で大腸がん細胞のイメージングが可能なイメージング用分子

(例4)活性型キナーゼAを有するXXがんに対し、選択的な経口投与可能な抗がん剤○○○○

TRP（Target Research Profile）

TPPを達成するために、どのような研究を行うのかについて記載してください。

記載例（TPPとTRPの例の番号は対応しています）：

(例1)取得したモノクローナル抗体を用いたXのELISAでの測定系を構築し、Yがんの組織及び血漿中の濃度を測定することによる早期診断、層別化の可能性を判断する。

(例2)大腸がん細胞特異的に抗がん剤Wを送達可能なDDS用分子X-Wコンジュゲートを開発する。

(例3)大腸がん細胞のイメージングを可能とする、核種Vでラベルしたイメージング用分子Yを開発する。

(例4)チロシンキナーゼAとその活性化に関わるBとの結合を阻害する薬剤をスクリーニングする系を構築し、AとBとの結合を阻害する低分子化合物を開発する。

**創薬コンセプトの図**

創薬コンセプトの図の記入は必須ではありません。TPP/TRPを説明する上で適切と考える場合は、図をおつけください。